

2週間前は二人の兄弟についてお話ししました。そして、先週は二人の花嫁についてでした。今週は二つの塔についてお話ししたいと思います。この聖書箇所を検討する通常の方法ではないかも知れませんが、私のこの聖句の研究において、名高い長老教会の学者であり牧師のエドモンド・クロウニー博士が同じように検討されているのを見つけました。彼の著書、**明かされる神秘：旧約聖書にキリストを見つける**で、彼はこの聖書箇所をバベルの塔の聖書箇所と比較していました。私の基本的なこの聖句の解釈は彼に負うところが大きいです。まず創世記28章10-22節のうちの最初の出来事を明確に述べている10-12節を読み始めましょう。

創世記 28章 10～22節 10. ヤコブはベエル・シェバを出て、ハランへと向かった。11. 彼はある場所にたどり着き、そこで一夜を明かすことにした。ちょうど日が沈んだからである。彼はその場所で石を取って枕にし、その場所で横になった。12. すると彼は夢を見た。見よ、一つのはしごが地に立てられていた。その上の端は天に届き、見よ、神の使いたちが、そのはしごを上り下りしていた。祈りましょう。

ヤコブが彼の兄の怒りから逃げるためにハランに行き、彼の叔父の家で嫁を娶ることを思い出してください。この旅は私の後の地図で見ていただけるように数日間ばかりかかります。500マイル、約800キロの旅路です。彼の旅路のある夜、きっといつもの夜のように始まったはずですが。彼は外で寝場所を見つけました。彼は枕にするために石を取りました。あまり心地の良い枕のように思えませんが、彼は眠りにつきました。彼は寝ている間に夢を見ました。さて、私たちは全員夢を見ます。しかし、この夢で、神は彼に語りかけられたのです。余談ですが、夢を神に帰することには慎重になる必要があります。今日、多くの偽りの教師たちが聖書に反する預言と称し、夢で神が彼らに語ったと言います。今日、特に聖書がほとんど行き渡っていない世界の地域で明らかに神が夢で語られる本物のケースもあります。しかし、神が語られたと言う主張は細心を払って聖書に照らし合わせる必要があります。聖書は唯一確実に信頼できる、神の御自身と私たちのための御心の啓示の道です。しかし、ヤコブには聖書がありませんでした。どうやら、彼の父や祖父と違い、彼には神への祈りを通して直接会話を行う関係を持っていないようでした。そこで、神が彼に臨まれたのです。神が彼に伝えられ彼がこの夢で見たものはこの聖句の鍵となるものです。彼は天から直接地上にはしごが下されているのを見ました。そして13節はそれが神に繋がっている事をはっきりさせました。13節はこう言って始まっています。13. **そして、見よ、主がその上に立って、こう言われた。「わたしは、あなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。わたしは、あなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える。**

御使いたちが天と地、神と人の間に掛けられたはしごを上り下りしていた事実は、このはしごが彼らの間の架け橋となったことを明らかに示していました。これは創造主なる神と被造物の間の溝を埋めるための大きなはしごでした。さて、ノアと彼の家族を除いて全人類を滅ぼした大洪水の後で、これより以前の創世記の書にもう一つの神に届くと主張された塔がありました。アブラハムの子孫は地を従わせ、アダムとイブが常に意図されていたように彼らは創造主の栄光を現す道をやり直すはずでした。それどころか、彼らは再び神を忘れて、神に栄光を帰す代わりに彼ら自身の名を高める事を追求しました。彼らは神御自身にまで届く塔を築き人類の偉大さを示そうと決めました。大宇宙の究極の存在は超自然的存在でも神でもなく人類であると言う、人間中心主義の典型でした。しかし、この世代の人間が工学の最高の英知と技術そして、建築業者をこの計画に結集した時、創世記11章5節は天に届こうかと言うこの巨大な塔に対する神の反応を私たちに見せてくれます。創世記 11章5節 **そのとき主は、人間が建てた町と塔を見るために降りて来られた。彼らの神に届こうとするに足らない企てはあまりにも小さく神がそれを見るために降りて来られなければなりませんでした。もちろんこれは誇張されていますが、神は全てを見ておられ、知っておられます。しかし、神は私たちの神に届こうとする努力は全て無意味であ**

ることを明らかにしようとされたのです。それでは、この二つの塔の違いは何なのでしょう。ヤコブのはしごは神から来ていました。私たちはヤコブのはしごと呼びますが、正確には神によってかけられたはしごであり天と地上の間隙を埋めています。人によって神に届くよう建てられた塔であれ何であれ達成することはできませんが、神が人と通じると定められる時、神はその間隙を御旨と御力によって埋められます。これこそ、はしごの核心です。私たちは自分たちの力で神に到達することはできませんが、神にはそれが可能であり、また手を差し伸べられます。そして、神のヤコブへの差し伸べられた御手はアブラムから始まった神の祝福を受け継がせるためでした。13-15節を見てください。13. そして、見よ、主がその上に立って、こう言われた。

「わたしは、あなたの父アブラムの神、イサクの神、主である。わたしは、あなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える。14. あなたの子孫は地のちりのようになり、あなたは、西へ、東へ、北へ、南へと広がり、地のすべての部族はあなたによって、またあなたの子孫によって祝福される。

15. 見よ。わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」

これは基本的に神がアブラムと契り、そしてイサクとも契ったと同じ約束または契約です。念のため、アブラム契約は創世記12章1-3節にあります。創世記 12章 1〜3節 1.主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。2. そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。3. わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

この神からの約束には三つの部分があります。約束された土地、国民となる子孫、そして彼と彼を通して地の全てに与えられる祝福です。さて、ヤコブにもおなじ約束が与えられました。土地、あなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える。大いなる国民、あなたの子孫は地のちりのようになり、あなたは、西へ、東へ、北へ、南へと広がり、祝福、地のすべての部族はあなたによって、またあなたの子孫によって祝福される。これは明確にアブラムとイサクに与えられたとおなじ祝福ですが、ヤコブに神が造られたこの架け橋、第二の塔の夢を通して人のレベルまで降りてこられ祝福を与えられると言う独特の方法がとられたのです。今の時代の私たちにとり、これはどう言う意味があるのでしょうか。近年、神の御言葉よりも遥かに精神世界著者のエックハルト・トールに近いクリスチャンの自己啓発書の作家が多数います。彼らは神の祝福を公式にまとめようとしています。こうするなら、この様に祈り、この様に考えれば、神の御好意があなたに与えられるでしょう。多くはご利益宗教的に物質的な豊かさをもたらす福音を教えています。このようなタイプの教えを聞いたり、読んだりした時は、すぐにできるだけ素早く遠くに逃げてください。それは異端であり、最悪の虚実、つまり嘘です。聖書は神の祝福を全く違った絵に描いています。旧約聖書で繰り返し神の恵が民に施される時、明らかなのは、この恵みが与えられるための特有なパターンや方式があるわけではありません。実際、バベルの塔とヤコブのはしごの比較を通して見えることは、神が誰にどのように祝福を与えるかは神御自身の御業であることです。アブラムは息子のイシュマエルを通して神の祝福を操れると考えました。ヤコブは彼の兄と父を欺くことによって神の祝福を操れると考えました。しかし、神は、はなから御計画に沿って、全く違う方法でなさる事を定められていました。

ヤコブがハラシに妻を見つけに出かける際も、もちろん、母の助けは借りますが、彼は自分の手でなんとかしようとしていました。神の約束はやがてアブラムの家族がヤコブを通して彼が去ろうとしている土地を受け継ぐ事です。どうやら、彼の旅路の始めのころで、彼はまだやがてイスラエルとなる地域を後にしていませんでした。ヤコブは何世紀も後に預言者ヨナが学んだと同じことに気づきます。神から逃げ出すことはできないのです。ヨナの場合、彼はまさに神から走って逃げました。ヤコブの場合、彼の罪の結果から逃げようとしていました。二つのケースとも

に、神はあなたがどこにしようとも、どれほど神から離れてしまっても、神の目的を成就されるため、神は私たちを見つけられます。ヨナの場合、神は魚の中の彼をニネバの街に神のメッセージを伝えるために用いるよう彼にられました。ヤコブの場合、神は彼が神を求めず、彼自身のやり方でなんでも解決し、反応し続けていた時にられました。ヤコブが神の祝福に手を届かせるために彼自身の塔を築いて、その過程で失敗するという例えを用いることができます。しかし、15節は神が彼にやって来て彼がどこへ行こうとも彼を帰郷させると言う祝福の約束が彼と共にあると伝えて終わります。15. 見よ。わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。私たちは神が私たちの信仰の創始者であり完成者であり、私たちの救いは完全に何から何まで神によると真に聖書を信じるのならば、神がヤコブになさる約束を信じなければなりません。神が私たちを彼の民として選ばれたのならば、神は決して私たちを見捨てずにたとえ彼から離れてしまっても、たとえ私たちが神を知らずとも、ここでのヤコブのように導かれます。神から私たちに与えられた最高の約束の一つは神が全ての約束が成就されるまで決して私たちを見捨てないと言う約束です。この約束が聖書を通して繰り返されていることを見ます。申命記 31章8節 主ご自身があなたに先立って進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない。

ヘブル人への手紙 13章5節 金銭を愛する生活をせずに、今持っているもので満足しなさい。主ご自身が「わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

ヨシュア記 1章9節 わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、主があなたとともにいるのだから。

イザヤ書 41章10節 恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。

マタイの福音書 28章20節 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

なんと素晴らしい堅く信じ続けることができる約束でしょう。たとえ、あなたが神と神の御計画から逃げようとしても、また、神が遥か遠くに感じられるような状況で神を求めようとしても神の約束は決して変わりません。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。この物語には最後の重要な部分があります。それは、神御自身のヤコブへの啓示に対するヤコブの応答です。まず16-22節を読みましょう。16. ヤコブは眠りから覚めて、言った。「まことに主はこの場所におられる。それなのに、私はそれを知らなかった。」 17. 彼は恐れて言った。「この場所は、なんと恐れ多いところだろう。ここは神の家にほかならない。ここは天の門だ。」 18. 翌朝早く、ヤコブは自分が枕にした石を取り、それを立てて石の柱とし、柱の頭に油を注いだ。 19. そしてその場所の名をベテルと呼んだ。その町の名は、もともとはルズであった。 20. ヤコブは誓願を立てた。「神が私とともにおられて、私が行くこの旅路を守り、食べるパンと着る衣を下さり、 21. 無事に父の家に帰らせてくださるなら、主は私の神となり、 22. 石の柱として立てたこの石は神の家となります。私は、すべてあなたが私に下さる物の十分の一を必ずあなたに献げます。」

これは真の礼拝です。私たちの神が降りてこられ私たちの人生に手を差し伸べられ、祝福の約束と絶え間ない御臨在に対する応答は同じ礼拝の応答であるべきです。さて、ヤコブはこれから先何年間も彼が学ばなければならない教訓を得るために苦しみます。しかし、神は御自身がヤコブの益と祝福の約束のための御計画をこの学びと成長のための辛い時期の初めに約束を与えられていました。痛みを伴います。しかし、その痛みは神の御臨在の知識から来しました。この神の知識が礼拝に導きました。

ヤコブの礼拝の一つはこの場所をベテルと改名することでした。これは私の後ろの地図に記されている信頼できる位置情報を与えてくれました。ベテルは神の家という意味です。それはヤコブが初めて神と会った場所を示しています。何年も後に、彼は帰途でこの礼拝の場所に再び訪れ神と再会します。イエス・キリストの誕生、死と復活の後に生きている私たちも、やはり神が地上で御自身を啓示された場所で礼拝します。しかし、物理的な場所ではなく、イエス・キリストという人にあります。神が御自身を啓示されている全ては現在イエス・キリストを通してあります。イエスはヤコブが見たそれよりも遥かに力強く、荘厳な御自身を中心とした未来のビジョンを約束されています。ヨハネの福音書1章51節でイエスはこう仰っています。ヨハネの福音書 1章51節 **そして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るようになります。」**

私たちが神と私たちの間の隔たりを埋める唯一の道はイエス・キリストを通してです。それ以外の神と私たちの間の壊れた関係のズレを直す方法はバベルの塔を築くことと全く同じです。私たちは罪人であり、すること全てにおいて神の栄光に達しえません。ローマ人への手紙3章23節は言います。ローマ人への手紙 3章23節 **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず**

しかし、イエス・キリストは私たちのはしごであり、塔です。その御方が私たちの創造主なる神との関係を回復させてくれます。ローマ人への手紙5章1は語ります。ローマ人への手紙 5章1節 **こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。**

この二つの塔の物語のうちあなたはどちらの塔を信頼していますか。あなたはバベルの塔を通して神に神に近づこうとしていますか。あなた自身の計画の善行や宗教行為を通して、またはある種の哲学によって意識をより高めようとしていますか。あなたは唯一の真の神への道を、道である御子イエス・キリストを信頼していますか。私たちを創造された神と再び繋げるために十字架の上で死なれ、隔たりを埋めるための はしご、塔となられたお方です。イエスの御業によって、神の御計画が成就されるまで、私たちを決して見捨てることがないと信頼するイエス・キリストを通して十字架の下に来る私たちは神と再び繋がることのできるのです。祈りましょう。

Genesis 28:10-22 A tale of two towers

Two weeks ago we talked about two brothers, then last week, two brides. This week, I want to talk about two towers. This may not be the normal way of discussing this passage, but in my study of this passage I found it discussed by a renowned Presbyterian scholar and Pastor, Dr. Edmund Clowney. In his book, *The Unfolding Mystery: Discovering Christ in the Old Testament*, he compared what we see in this passage with the Tower of Babel, and I am indebted to him for the basic way of interpreting the passage. Let's begin our discussion of **Genesis 28:10-22** by reading verses 10-12 that lay out the primary event of this passage. **10 Jacob left Beersheba and went toward Haran. 11 And he came to a certain place and stayed there that night, because the sun had set. Taking one of the stones of the place, he put it under his head and lay down in that place to sleep. 12 And he dreamed, and behold, there was a ladder set up on the earth, and the top of it reached to heaven. And behold, the angels of God were ascending and descending on it!** Let's pray.

Remember that Jacob is fleeing from his brother's anger by going to Haran and his uncle's house to get a wife. This journey is several days long **as you can see on the map behind me**. This was about a 500 mile or 800 kilometer journey. On one of the nights of his trip, that I'm sure started like any other night, he found a place to sleep outside. He grabbed a stone for a pillow, which does not sound anywhere near as comfortable as a pillow, and fell asleep. While he was asleep, he dreamed. Now, we all dream, but God was speaking to him in this dream. As an aside, we need to be careful about ascribing dreams to God. There are plenty of false teachers today saying or "prophesying" things that go against scripture who said God spoke to them in a dream. There are also clearly authentic cases of God speaking in dreams today, especially in areas of the world, where the Bible is nearly absent, but we need to always examine claims of God speaking against what the Bible says. The Bible is the only absolutely trustworthy way that God reveals himself and his will to us. But for Jacob, there was no Bible, and apparently unlike his father and grandfather, he didn't have the relationship with God where he carried on direct conversations through prayer with God. So God came to him. What he saw in this dream as God communicated with him is key to this passage. He saw a ladder that reached from earth directly to Heaven, and verse 13 makes it clear it reached to God. Verse 13 begins, **"And behold, the Lord stood above it"**.

The fact that angels were going up and down on this ladder between Heaven and earth, God and man, shows the clear bridge between them that this ladder created. This was a tall ladder that bridged the gap between the Creator God and his creation. Now earlier in the book of Genesis, after the flood that destroyed all humanity except for Noah and his family, there was another tower built that claimed to reach God. The descendants of Abraham who were supposed to subdue the earth and start over in a way that glorified their creator as Adam and Eve were always intended to. Instead, they again forgot about God and sought to make a name for themselves instead of bringing glory to God. They decided to build a tower that would reach to God himself and show how great humanity was. It was the epitome of humanism, that the ultimate thing in the universe is humanity, not any supernatural or divine being. But when this generation of humans had put their best engineering skills and builders on the project, **Genesis 11:5** shows us God's reaction to this great tower that should reach to Heaven. **And the Lord came down to see the city and the tower, which the children of man had built.** Their puny

attempt to reach God was so small that God had to come down to see it. Of course this is hyperbole. God sees and knows everything. But he wanted to make the clear point that all of our efforts to reach God are useless.

So, what is different between the two towers. In Jacob's ladder, it came from God. We call it Jacob's ladder, but truly this is a ladder built by God that bridges the gap between Heaven and earth. A tower or anything else built by humans to reach God will fail, but when God determines to communicate with humans, he will bridge that gap through his own will and power and strength. This is the point of the ladder. We cannot reach God in our strength, but he can and will reach out to us. And his reaching out to Jacob was in order to pass onto him the blessing that started with Abraham. Look at verses 13-15.

13 And behold, the Lord stood above it and said, "I am the Lord, the God of Abraham your father and the God of Isaac. The land on which you lie I will give to you and to your offspring. 14 Your offspring shall be like the dust of the earth, and you shall spread abroad to the west and to the east and to the north and to the south, and in you and your offspring shall all the families of the earth be blessed. 15 Behold, I am with you and will keep you wherever you go, and will bring you back to this land. For I will not leave you until I have done what I have promised you."

This is basically the same promise or covenant that God made with Abraham and then repeated to Isaac. As a reminder the Abrahamic covenant is found in [Genesis 12:1-3](#). Now the Lord said to Abram, "Go from your country and your kindred and your father's house to the land that I will show you. 2 And I will make of you a great nation, and I will bless you and make your name great, so that you will be a blessing. 3 I will bless those who bless you, and him who dishonors you I will curse, and in you all the families of the earth shall be blessed." In this promise from God, there are three parts – the promise of land, descendants who become a nation, and blessing, both on him and through him to the earth. Now to Jacob, we see this same promise given. Land - **The land on which you lie I will give to you and to your offspring.** Great nation - **Your offspring shall be like the dust of the earth.** Blessing- **in you and your offspring shall all the families of the earth be blessed.** This is clearly the same blessing that was given to Abraham and Isaac, but delivered in a very unique way to Jacob through this dream of God creating this bridge, this second tower, to reach down to his level and deliver the blessing.

What does this mean for us in our time? In recent history, there are many Christian self-help authors who sound far more like Eckhart Tolle than God's Word. They try to boil God's blessing down to a formula, if you will do this, pray this way, think in this way, then God's favor will be on you. Many of them teach in the so called prosperity gospel that this blessing will be manifested in wealth. When you hear this type of teaching or read this type of teaching, run as far away from it as fast as you can. It is heresy and falsehood of the worst kind. The Bible paints a very different picture of God's blessing. Over and over what becomes clear so far as we see God's blessing extended to people in the Old Testament, is that there is not a specific pattern or formula to make this blessing happen. In fact, as we are showing through this comparison with the Tower of Babel and Jacob's ladder, that who and how God gives blessing to is completely God's doing. Abraham thought he could manipulate God's blessing through the son, Ishmael. Jacob thought he could manipulate God's blessing through deceiving his brother and father. But God knew all along that he would do things very differently and according to his plan.

Even in leaving the area to go find a wife in Haran, Jacob was taking matters into his own hands, with the help of his mother of course. The promise of God was that eventually Abraham's family through Jacob would inherit the land that he was leaving. Apparently, this must have been early in his journey and he had not yet gotten fully outside of the area of what eventually became Israel. Jacob would find out the same thing the prophet Jonah would learn centuries later. You can't run away from God. In Jonah's case, he was literally running from God, and in Jacob's case he was running from the consequences of his sin. In both cases, God finds them no matter where they are and how far away from God they are, in order to accomplish his purpose. With Jonah, God comes to him in a fish to use him to share his message with the city of Ninevah. With Jacob, God comes to him when he is not seeking God, but continuing to fix and react to things in his own way. You could use the analogy that he is building his own tower to God's blessing, and failing in that process. But God comes to him and promises blessing that ends in verse 15 to be with him wherever he goes and to bring him back to his home country. **Behold, I am with you and will keep you wherever you go, and will bring you back to this land. For I will not leave you until I have done what I have promised you.** If we truly believe scripture, that God is the author and finisher of our faith, that our salvation is completely and totally by him, then we have to believe this promise he makes to Jacob. If God has chosen us as his people, then he will never leave us and guide us even when we are away from him, even before we know him, as it seems Jacob may be here. One of the greatest promises we have from God is this promise that he will never leave us until his all his promises are fulfilled. We see this promise repeated over and over in Scripture. **Deuteronomy 31:8** ...He will never leave you or forsake you. Do not fear or be dismayed. **Hebrews 13:5**..Be content with what you have, for he has said, I will never leave you nor forsake you. **Joshua 1:9**...Do not be frightened, and do not be dismayed, for the Lord your God is with you wherever you go. **Isaiah 41:10**...Fear not, for I am with you; be not dismayed, for I am your God. **Matthew 28:20**...And behold, I am with you always, to the end of the age. What a wonderful promise to hold on to. Whether you are trying to run from God and his plan or you are trying to find God in a situation where God seems far away, his promise is the same...**I will not leave you until I have done what I have promised you.**

There is a final important part to this story and it is Jacob's response to God's revealing of himself to Jacob. Let's read verses 16-22. **16 Then Jacob awoke from his sleep and said, "Surely the Lord is in this place, and I did not know it." 17 And he was afraid and said, "How awesome is this place! This is none other than the house of God, and this is the gate of heaven." 18 So early in the morning Jacob took the stone that he had put under his head and set it up for a pillar and poured oil on the top of it. //19 He called the name of that place Bethel, but the name of the city was Luz at the first. 20 Then Jacob made a vow, saying, "If God will be with me and will keep me in this way that I go, and will give me bread to eat and clothing to wear, 21 so that I come again to my father's house in peace, then the Lord shall be my God, 22 and this stone, which I have set up for a pillar, shall be God's house. And of all that you give me I will give a full tenth to you."** This is true worship. The response that we should have to God reaching down into our lives and promising us blessing and his constant presence should be this same response of worship. Now Jacob was going to go through many more years of pain in order to teach him lessons that he needed to learn. But God was promising him right at the beginning of this painful time of learning and growth that God had a plan for his

good and promise for his blessing. It would involve pain, but pain that came with the knowledge of God's presence. This knowledge of God led to worship.

Part of his worship was renaming the place Bethel. **This gives us a location that is more certain, which is marked on the map behind me.** Bethel means house of God, showing it to be the place where Jacob met God for the first time. Years later, on his way back, he will again come to this place of worship and meet with God again. For us who live after Jesus Christ's birth, death and resurrection, we also worship God where God revealed himself on earth. But this is not found in a physical place, but in a person, Jesus Christ. Everything about God revealing himself to us now is through Jesus Christ. Jesus promises a future vision that is even more powerful and awesome than what Jacob saw, and centers on himself. In [John 1:51](#) Jesus says, "Truly, truly, I say to you, you will see heaven opened, and the angels of God ascending and descending on the Son of Man." The only way we can ever bridge the gap between God and ourselves is through Jesus Christ. Every other way that we try to fix the gap, the brokenness or ZURE in Japanese, between us and God is the same as building the tower of Babel. We are sinners and everything we do will fall short of reaching God's glory. As [Romans 3:23](#) says, **For all have sinned and fall short of the glory of God.** But Jesus Christ is our ladder, our tower, the one who restores the relationship with our creator, God. [Romans 5:1](#) says, **Therefore, since we have been justified by faith, we have peace with God through our Lord Jesus Christ.** In this tale of two towers, which tower are you trusting? Are you attempting to reach God through a tower of Babel? One you design yourself through good works and religious actions or some philosophy that allows you to reach a higher consciousness? Or are you trusting the only real way to God, through God the Son, Jesus Christ. He died on a cross to bridge that gap to build a ladder or tower that would allow us to reunite with God who created us. This allows us who have come to the cross, who have been united with God through Jesus Christ to trust that he will never leave us or forsake us, until his plan is perfectly fulfilled in us. Let's pray.